

## 【22\_134技術系メルマガ】改めて解説シリーズ 『目線』とは何か？

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今回は前回の『セットアップ』の定義に引き続き、『目線』の定義を説明したいと思います。

今日のメールの最後に改めてまとめますが、『セットアップ』と『目線』は「正しいやり方をすれば相場の先を読める」

といった魔法のアイテムという訳ではなく

不確実な相場の世界で『自分の明確な基準』を定め、一貫したトレードをやり続けることによって

自分の求める結果を出す(＝トータルで勝つ)ためのツールであるという事を認識しながら読み進めてみてください。

では、早速本題に入りましょう。

□  
■ 『目線』＝「迷い」を取り去り、セットアップの精度を高めるもの

目線の決め方についても、時折メールなどで質問を頂くことがあります。

特に多いのは

「(いつぞやのトレードを見て)なぜ、その方向に伸びると分かったのか？」

という質問です。

ここでしっかり誤解を解いておきたいのですが、僕は前もってどちらの方向に値が伸びるかを分かっている訳ではありません。

(もしそれが本当に分かるのなら、損切りをする必要などないですよ)

昨日のメールの内容とも多少重複しますが、あくまで僕は『やるならこっち』と予め決めておき『決めた通り』にトレードを実行しているだけなのです。

先日のモーニングライブの中でも言及していますが、『セットアップ』の方向性と『目線』の方向性が合っている

(チグハグしていない)時にトレードするのが一番エッジ -優位性- が効きます。

▼当日のモーニングライブアーカイブ▼

<https://youtu.be/jAr8NR60GgQ>

セットアップだけで勝負して、手数でトレードするという手も無くはないのですが

それだと相当勝率が下がるので、しっかりリワードを取って利確しないと

負け越してジリ貧になる事もあります。

そして何より、やたら負けが込むトレードというのは、実際やっているとかかなり自分にストレスがかかるはずなので

精神衛生面を考えると、なるべく無駄な損切りトレードはしないに越したことはありません。

『目線の固定』は、そういった無駄な負けトレードによるストレスを減らすための手段としても有効なので

是非とも覚えておいてほしいポイントです。

そして、『目線の決め方』ですが、映像内でも話した通り【進行方向に(MA・水平線などの)邪魔者が居ない方向】に定めましょう。

勿論、邪魔者がゼロという場合はほぼ無いので、多少の不確定要素があるのは仕方がないですが

全体のトレンドや、相対的な邪魔の多少を考慮して『やるならこっちだな』という判断をしていく訓練をしてみましょう。

このあたりの精度も、時間かけてフォワードテストしながら『自分が決めた目線』に従ってトレードが出来ていたか？

その結果、利回りをキープ出来たか？

点検と改善を繰り返して、徐々にチャートを一貫して観る力を養っていきましょう。

最後にまとめると、前回の『セットアップ』然り、今回の『目線』においても

共通して重要な『考え方』は、あくまでもこれらは『自分が“勝手に” 決めている』ものだけということです。

なぜ殊更に『決める』ということ強調しているのかというと

以前Twitterでも書いた事があるのでご紹介します。

▼当時のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1516365756409462793>

先月辺りにこれを投稿した当時、あまり大きな反響は無かったものの、特に僕の発信を長い事追ってくれている人や

サロンメンバーからは、理解と納得のコメントを貰いました(笑)

本当は、これを一人でも多くの人に知ってほしいと思っているのですが、相場は「先を読むもの」

というイメージが、一般的に根強く残っていて、『先は絶対分からないからこそ、自分の基準を定める』

という事の重要性を浸透させるのは、まだまだ時間がかかりそうです。

ですが、長く相場で生き残り、かつ稼ぐ状態に一早く自分を変えたいのであれば、この発想の転換が必要になるので

このメールを常々呼んでくれる皆さんには、しっかりこの考え方を腑に落として欲しいと思っています。